

能勢町イノベーションプロジェクト企画

第3回全国高校生観光プランコンテスト「観光甲子園」
優秀作品賞「日本旅行業協会会長賞」を獲得（能勢高校）

「観光甲子園」は、Welcome To My Town・My Areaをテーマとし、高校生の斬新な視点で地域の魅力を再発見し、地域の活性化などにつながるものとして作成した観光プランについて、採算性・論理性・消費者の視点など、実際の旅行商品として実現性の高さを競うものです。主催は「観光甲子園」大会組織委員会、共催は神戸夙川学院大学、後援は文部科学省、観光庁などです。



会場のアリーナに張られた横断幕

能勢高校は全国72校134プランから、本選プレゼンテーション出場10校10プランの中に選ばれ、8月21日（日）全国大会本選に出場しました。会場は神戸ポートアイランド内の神戸夙川学院大学アリーナでした。

本選には、北は北海道立富良野緑峰高校から、南は佐賀県立嬉野高校まで全国から選ばれた10校が、各校の「観光プラン」のプレゼンテーションを行いました。

内田千秋首席、水嶋育美教諭らの指導のもと、3年生生徒会メンバー4人（岡田尚也、石田麻莉、加藤史帆、遠山遥）が、グランプリ（文部科学大臣賞、観光庁長官賞）をめざし、夏休み返上でパワーポイントを作成し、プレゼンテーションの練習を重ねてきました。パワーポイント作成に向けて、プラン提出時

に取材した地元各所を再度訪ね、写真撮影とともに地元の方たちの声を聞き、地元観光プランの内容を再編集しました。また、プレゼンテーションのために人形浄瑠璃を体験し、地元から浄瑠璃人形も貸していただきました。朝早くから夜遅くまで何度も何度もパワーポイントを作り直し、プレゼンテーションの練習に練習を重ねてきました。



「能勢高校を応援する会」のチャーターバスで
移動する応援団

本選当日は、「能勢高校を応援する会」のチャーターバスで、大勢の方々が応援に駆けつけて下さいました。

会場内には「祝 能勢高校 全国観光甲子園 全国大会出場」の「能勢高校を応援する会」からの横断幕が掲げられ、会場入り口では能勢町物産センターからの応援物産ブースまで出て、町ぐるみの声援を受けました。



本番のプレゼンテーションの様子

本番のプレゼンテーションでは、本校の生徒4人は緊張しながらも全力でプレゼンテーションを行い、思う存分自分たちの観光プランをアピールしました。結果は、グランプリ、準グランプリは逃したものの、優秀作品賞として「日本旅行業協会会長賞」が授与されました。

本校生徒たちは、全国の並み居る観光地から来た強豪各校のプランと競い合い、十分に健闘しました。表彰式・閉会式のあと、応援に駆けつけてくれた地元能勢町の方々から惜しめない拍手とねぎらいの言葉をかけてもらいました。

出場した生徒たちは本選出場で達成感を味わっただけでなく、能勢高校が地域に愛されている学校であること再認識し、地元の人たちの熱い郷土愛を感じた全国大会でした。



出場した3年生生徒会のメンバー